

# 文京通信

ふみのみやこ



No. 18

2025年5月発行

目次	1
コラム 読書について (熊野純彦所長)	
3月に退任した客員の先生のあいさつ (梅谷博之先生・小山玲子先生・馬場智理先生)	2
4月に着任した客員の先生のあいさつ (細谷浩史先生)	3
着任2年目の客員の先生からのメッセージ (安藤宏先生・池田嘉郎先生・小田部胤久先生・森義仁先生・頼住光子先生)	4
お知らせ① (通信指導・単位認定試験)	7
行事案内 (卒業研究ガイダンス・公開講演会・学園祭・研究成果発表会)	8
行事報告 (入学者の集い・学園祭・公開講演会 (ほか))	9
客員教員ゼミ	11
公認サークル一覧	12
お知らせ② (追加登録・印刷教材の購入方法・無線 LAN 利用について・X について)	13



## <コラム>

### 読書について

——「大作」に挑む——

所長 熊野 純彦



年をとったせいかな、むかしのことばかり思い出す。読書についてもそうである。あまりに紋切り型の書き出しで、われながらどうかと思うけれど、年をとったせいで恥じらいもなくなってきたので、つづけてしまおう。

若いときの読書の傾向のひとつに、「大作に挑む」という方向があるように思う。挑んだもののうちには読みとおした作品もあるし、挫折してしまった長篇もある。抛りだしたのはたとえば『大菩薩峠』、中里介山の大正時代の小説で、そのむかし暇を持てあました学生があまた挑戦し、ほとんどの者が敗れ去った。

おなじころ、いちおう読みあげたのはブルーストの『失われた時を求めて』である。井上究一郎訳の筑摩書房版で、こちらは十代のころ、すくなくとも二回は通読している。長じてから鈴木道彦訳をすこし覗き、古川一義訳であらためて拾い読みした。後者は岩波文庫で、いちばん入手しやすいテキストだろう。井上訳はいまとなってはすこし読みにくい。鈴木訳は瑞々しく、また古川訳はリーダービリティ（読みやすさ）では出色である。

十代のころに親しんだのは、もうひとつには日本古典であった。高校の物理がだんだん、「おっしゃっている意味が分かりかねますが」状態となっていくところ、階段教室の最後列に悪友とならんで座って、『源氏物語』に挑戦した。手に入れたのは旧版の岩波文庫、注の数もすくなく、ときおり「……分かりかねますが」状態に陥ったけれど、たしか半年で読みあげたと思う。以来いくどか、何種類かの刊本で通読したが、これから原文で読んでみようという方がいらしたら、新潮社の古典集成をおすすめしたい。頭注と傍注に助けられながら、原文の香りを味わうことができる。

ただの素人がブルーストを読んでも、源氏をかじっても、べつにどうなるというものではないだろう。それでも、そういった大作を読むのも読みなおすのも、それほどお金もかからず、ひとさまに迷惑もかけない贅沢である。

## <3月に退任した客員の先生のあいさつ>

### 東京文京学習センターが私に与えてくれたもの



梅谷 博之

私が東京文京学習センターに客員教員として着任したのは2020年度第2学期で、コロナ禍の最中でした。着任前の第1学期には、面接授業が全国一律でやむを得ず閉講になってしまいました。そのような状況の中、私が着任後に最初に関わった仕事は、面接授業をオンラインで実施できるようにするためにお手伝いをするごとのことでした。Web会議ツールを使っての授業手順を学習センターの方と一緒に確認したり、実際のオンライン授業に先駆けて学生さんに模擬授業を行い、雰囲気や受講手順を体験して頂いたりしました。

教える側の立場から申し上げますと、遠方からでも受けて頂ける点でオンライン授業には利点があります。その一方で、仮に受講者全員がビデオをオンにしても全員の動きや表情を捉えることが難しく、教室全体の様子に応じて授業進行を変えることが難しい、という短所もあります。その点で、対面授業を以前のように行える社会状況が戻ってきたことを、この文章を書きながら改めて嬉しく思います。

学生の皆さんとは、学習相談の場でもお会いする機会がありました。私は、日々の業務の中でついつい学習・研究が続けられることの有難さを忘れてしまうことがあります。そうした時に、学習相談（および面接授業）を通じて皆さんの「学びたい」という強い意欲に触れて、大学生・大学院生として研究を始めた頃の新鮮な気持ちを思い出し、「自分も頑張ろう」と思うことができました。このように、面接授業や学習相談は教員にとってもとても有意義な活動で、そのような機会を与えて下さった皆さんや学習センターに心より感謝しています。

客員教員としては2024年度末での退職となりますが、面接授業は2025年度も担当いたします。今年度もまた、皆さんの「学びたい」という強い意欲に触れられることを楽しみにしています。これまでありがとうございました。そして、今年度もよろしくお願いいたします。



### 退任あいさつ



小山 玲子

東京文京学習センターの皆様、こんにちは、小山玲子です。

今年の3月で客員教員としての任期が終了いたしました。2020年4月から2025年の3月までの5年間、貴重な経験をさせていただきました。着任した2020年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により「緊急事態宣言」が出され、学習センターの会議はオンラインで行われました。その当時オンラインに慣れなかった私は初回ドキドキしながら会議に出席したことを今でも覚えています。

客員教員ゼミを2020年の秋から毎月1回オンラインで開催してきました。各回の参加者は5~8人位ですが、全体で約30人が所属していました。ゼミでは私の研究テーマである「子ども」を中心に絵本や環境、子どもを取り巻く諸問題などいろいろなテーマを毎回話し合ってきました。ゼミ生の皆様は年齢・性別・職業等様々で、それぞれの視点での考えを出し合うことで学びが深まったと思います。皆で熱心に話しあったり、情報交換をしたりしたこの時間はとても楽しく有意義な時間になりました。

客員教員としてのゼミは終了しますが、今後も年に数回このような会合を行う予定です。今後はオンラインに加え「東京おもちゃ美術館」「国立科学博物館」「図書館」等の訪問を実現したいと思います。

2023年、日本の合計特殊出生率は全国で1.20となり、過去最低を更新しました。ますます少子化が進んでいます。日本の少子化は、経済的な課題だけでなく社会的・経済的な問題も含んでいます。出生率の低下に対処するための政策に加え、経済的な支援や育児支援の充実、男女共同参画の推進などの取り組みが必要です。子育てがしやすい社会になるよう微力ながら貢献したいと思っています。

東京文京学習センターの皆様、「習うは一生」「学問に老若の別なし」、これからも目標に向かいご自分のペースで学び続けてください。5年間ありがとうございました。

## 退任挨拶

馬場 智理



昨年度まで、東京文京学習センターの客員教員を担当いたしました馬場です。まずは、在任中お世話になった皆様に御礼申し上げます。

客員教員といっても、なじみのない方もいらっしゃるかもしれません。放送大学はむしろ放送授業が中心ですが、その学びをサポートするために、学習センター、そして客員教員が存在します。本学習センターでは、客員教員ゼミ、学習相談、クラス会、若年学生のサポートプロジェクト（Pまな）など、さまざまな活動が行われており、私も、それらのお手伝いをし、多くの学生さんと接してきました。老若男女、さまざまな学生がさまざまな目的のもとに学ぶ光景は、まさに放送大学ならではのでした。

しかも、学位取得を目指すだけでなく、各自が自らの関心に従って地に足のついた学びを行う姿は、大学とは何かを改めて考えさせられるものでした。学生の関心に対応した多様な学びの場は、学術的な教育の場とともに、放送大学のモデルとなったイギリスのオープンユニバーシティが当初の構想において設定していた、二つの大きな目的の一つでした。イギリスでは後者が中心となっていきましたが、社会学者のマイケル・ヤングは、前者こそ平等で開かれた大学が提供すべきものであると主張しました。

ヤングは、イギリスにおいて階級社会が動揺したのちに登場した能力主義（能力のある者が社会的地位や権力を持つべきであるという考え方）を「メリトクラシー（日本でいえば学歴主義に近い）」と名づけ、結局は階級に代わり能力のある者が中心となって社会を支配する、ディストピア的な未来を予想しました。そして、このメリトクラシーの弊害を避けるために、特にこれまで高等教育が想定してこなかった人々のニーズに合わせた学びの場の必要性を主張したのでした。

ヤングの描くメリトクラシーの世界は、エリート支配への批判に端を発する現代の分断した社会を予言しているようにも思われます。（ちなみに、ヤングのメリトクラシーをふまえ、現代社会の問題を剔抉した著作として、マイケル・サンデル『能力主義は正義か？』があります。）その意味では、学生のみなさんが地に足のついた多様な学びを実践している放送大学は、混沌とした現代社会に対応するための一つの学びの場としての可能性を秘めているといえるかもしれません。

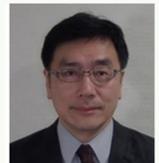
それでは、放送大学の今後の発展を祈念し、退職の挨拶といたします。



## <4月に着任した客員の先生のあいさつ>

### 私たちとミドリゾウリムシ

客員教員 細谷浩史



2025年の4月に東京文京学習センターに着任いたしました。

専門は、動物細胞を研究対象とした細胞生物学です。動物細胞がどうやって分裂し、2個に増殖できるのか、その「細胞分裂のメカニズム解明」が研究テーマです。

実験材料は、子宮ガン細胞（HeLa細胞）や原生生物ミドリゾウリムシを使用しています。細胞分裂のメカニズム解明にガン細胞を用いるのは皆様もよく耳にされる事と推察します。しかし、なぜ「ミドリゾウリムシ」が登場するのでしょうか？

そもそもミドリゾウリムシとはどのような生き物なのか？ 単純に言えば、緑色のゾウリムシです。皆様にお馴染みの「ゾウリムシ」は私たちヒトと同じ動物細胞で、光合成ができず、生きていく上で太陽エネルギーを直接利用できません。しかし、「ミドリ」ゾウリムシは、緑色になることで太陽エネルギーを利用でき、空腹を満たせる動物細胞になれました。ミドリゾウリムシがやれるのだから、私たちも緑色になれば光合成ができるようになるのではないかと、そんな夢？を見ることも可能です。

ミドリゾウリムシにはいくつかの謎があります。

- (1) 長い夜、太陽光が利用できない間、いくら緑でもミドリゾウリムシはどうやって空腹を満たしているのだろうか？
- (2) そもそも「ゾウリムシ」だけで十分なのに、なぜ「緑色」のゾウリムシができたのか？
- (3) そもそも、何がどうなってミドリゾウリムシは緑色なのか？

事務室から許可された字数に限りがあるので、このあたりでおしまいにします。あっ、HeLa細胞に加えてミドリゾウリムシが登場した理由も謎のままです……。

何かの折に、皆様と一緒にこれらの謎解きを進めていきたいと思っております。

皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## ＜着任 2 年目の客員の先生からのメッセージ＞

### 客員教員に着任して



客員教員 安藤 宏

昨年の春に客員教員に着任しました。専攻は日本の近代文学史、表現史などで、作家では太宰治などを中心に研究を進めています。文京学習センターのお仕事はまだ新米ですが、放送大学とのお付き合いはそれなりに古く、二〇〇一年から八年間、「近代の日本文学」という科目を担当していたことがあります。ラジオなのでまったくの一方通行で、毎回四〇数分、相手の顔が見えない中でしゃべるのが、当初、不安だったのを覚えています。スクーリングなどの対面授業や個別指導があることは知っていましたが、なかなか「対面」の実感を味わうことができずにおりました。

昨年、はじめて文京学習センターで念願の面接授業を体験し、私の放送大学に対する認識も大きく変わったように思います。大学の集中講義のようなものをイメージしていたのですが、いい意味で期待を裏切られたというか、一番胸打たれたのは学生さんたちの熱意でした。丸一日しゃべるので、聞き手が退屈しないように、組み替え用のメニューなども用意していましたが、実際にはそのような配慮は必要なく、自分の話したいことを思うようにしゃべっている自分に気がつきました。

扱ったのは太宰治だったのですが、狙うところは単にその作家単体の魅力を指摘していくことではなく、もっと広く、言葉・人間・社会の三者を、相互可変的な関係として捉えていく発想を理解して頂きたい、という点にありました。とても反応がよく、言葉を媒介にした個人と時代の織りなすドラマをそれなりに表現できたような気がしています。文学というものは単に伝統文化の理解や情操教育に関わるものなのではなく——この点、現行の文科省の高校国語の「指導要領」の方針には大きな疑問を持っています——もっとわれわれが現代社会に生きていくこと——特に異質な他者に対する想像力を働かせていくこと——に直接関わるものなのだと、これからもさまざまな形でお伝えしていきたいと思っています。



### ロシアの歴史と現在について語る



客員教員 池田 嘉郎

放送大学東京文京学習センターが隣接する教育の森公園は、子どもが小さい頃に自転車で乗せて何度も遊びに来ました。なのでセンターの建物には以前から馴染みがありました。私の専門は近現代ロシア史です。もともと社会主義ソ連に関心があり、その原点であるロシア革命を卒業論文では扱いました。その後、関心の対象は帝政期にも広がりました。幾度もの体制転換にもかかわらず、ロシア史を貫通する権力の仕組みは変わっていないというのが、現在私が考えていることです。①「法の上に権力者が立つ」という法文化、②身分や階級や職場といった単位で住民を団体に編成する社会管理、この2点に支えられて強力な中央権力が機能しているのです。

このようなロシア理解について、2024年11月に2日間、「現代ロシア史」の講義でお話いたしました。多くの熱心な学生さんに出席していただき、私にとって大変充実した時間となりました。不慣れなために時間を間違え、長く話し過ぎてしまったのは申し訳ない限りです。また2025年2月には「プーチンのウクライナ戦争——ロシア史の中で考える」という題名で公開講演会を行なうことができました。ロシア史・ウクライナ史の流れを概観したのち、最後に「ロシア＝ウクライナ戦争をめぐるQ and A」として、「プーチンはウクライナをどのように見ているのか?」「ロシア＝ウクライナ戦争の背景・遠因は何か?」「ロシア史研究者としてウクライナ戦争をどう見るか?」といった問いを立てて、私の考えをお話しました。歴史の概観プラスQ and Aというやり方は今回初めて試してみたのですが、事実の把握と論点の明確化の両方ができて、なかなかよかったと思っています。

勉強することを求めて放送大学に来られる、様々な世代の熱心な学生さんたちを前にすると、よそでやるのとは違う緊張感を覚えます。これからもロシア史についてより深く探求を進め、皆さんの前でお話していきたいと思っています。

## この1年を振り返って



客員教員 小田部 胤久

熊野所長に誘われて、2024年度より東京文京学習センターの客員教員を務めております。

私は2024年3月に東京大学を定年退職いたしましたので、新生活を始めるのと同時に本センターでの教員となりました。新生活と書きましたが、文系の研究者の場合、もちろん例外はあるでしょうが、生活の基本は変わりません。急に地域の活動に参加したり、あるいは庭いじりを始めたりするわけではなく（そもそも都会に住んでいて庭はありませんが）、起きたら急いで子どもたちを学校に送り出し、その後は子どもたちが帰宅するまで自宅の机に向かって仕事です。とはいえ、大学を退職して改めて驚いたのは、毎日送られてくるメールの量がかつての一割程度になったことです。つまり、机に座って仕事するといっても、在職中はそのかなりの時間を大学からの事務的なメールへの対処に費やしていたのですから、能率が上がらなかったのも無理はありません。この一年で、少しずつ研究に集中する習慣を取り戻すことができました。

ちょうど新生活に慣れた頃に、放送大学の対面授業を担当いたしました。強く印象に残っているのは、私よりもはるかに年配の方々が週末90分の授業（かつ、かなり抽象的で難しい話）を8コマ熱心に聞いてくださったことです。20代の若い学生にとっての見本のように思われますが、一体それは何に由来するのでしょうか。おそらく多くの方々は退職後に、あるいは人生の節目を経て、本当にやりたかったことを追求されている。それこそが放送大学独自の熱気を生み出しているとは私は確信いたしました。

私もあと何年健康でいられるかわかりません。放送大学に呼んでいただいたことは、「本当にやりたいことをしなさい」というお告げのように思われます。放送大学での残りの任期、全力で教育・研究に取り組みますので、皆さんと教室で、あるいは校舎でお目にかかれたいことを楽しみにしております。



## この一年間を振り返って



客員教員 森 義仁

昨年、学習センターの教員紹介では次のように書きました。「自らの手で実験に取り組み、物理や化学を楽しんでみたい、百回見るぐらいなら一回は自分の手を動かしてみたい。自宅での実験を想像して、道具を探し、条件を検討する。するとそこに、工夫や考案が生まれ、さらに気持ちが掻き立てられます。ご一緒にいかがでしょうか。」何も小難しい実験ではなくても、広い年齢幅を対象としてよく知られている理科遊び実験でよく、要は、結果は分かっているでも自ら取り組んでみるのがお勧めというわけです。この一年間、みなさんに勤めるだけでなく自らも機会を見つけては試みてみました。客員教員ゼミで同じ関心を持つ方々と遊んでみました。遊んでみるといろいろとアイデアが湧き出てきます。やはり自ら手を動かすことは何かをもたらすことが分かりました。インドからの学生をもてなすことがあり、理科遊びで国際交流を企画しました（写真1）。長く理科実験サークルの顧問を務めているので様々なお誘いがあります。あるときは葛飾区の施設に行き、あるときは文京区役所大塚支所に行き、理科遊び企画を小学生と時間を共にしました。当日、みんなで一緒に理科遊びをすることもいい気分になりますが、予備実験をすることもまたとても楽しく感じました。おそらくこの感覚を持つには実際に実験に取り組むことが必要でしょう。大学教員の他に、認定こども園長や保育所長を務めていたので、幼児や保育士の先生方と一緒に理科遊びをしました。それまでに、幼稚園長も務めていたご縁で、園児はもちろんのこと、保護者とご一緒に理科遊びの時間をもちました。小学校で学習する内容が増えてきて理科で「音」に関するものが少なくなっていると聞きました。そこで、ストローを細工して、二枚リード楽器を作ってみました（写真2）。二枚リード楽器と言えばオーボエで写真2はストローオーボエとなるのでしょうか。太さを変えてみて吹く、長さを変えてみて吹く、遊びが止まりません。



写真1  
国際交流(IN&JP)



写真2  
リード楽器

## 放送大学東京文京学習センターでの1年を振り返って



客員教員 頼住 光子

2024年4月に、放送大学東京文京学習センター客員教授に就任いたしましたから、1年がたちました。この1年間を振り返って、特に印象的だったのが、入学式と卒業式です。放送大学では、入学式は各学習センターで春秋二回、卒業式は秋に一回行われ（春の卒業式は放送大学全体で行われます）、このお式に、私ども客員教員は参加することになっております。

入学式では、出席した教員一人一人が、学生に対してこれから大学生としての学びを始めるための心構えをお話します。この時の、先生方のお話がとても素晴らしく、私は自分も原点に戻って大学一年生になったような気持ちで、先生方のお話に聞き惚れてしまいました。先生方の入学式でのお言葉は、新入生の皆さんの心の糧になり、その後の大学生活の励ましとなっただろうと思います。

また、卒業式もとても感動的でした。この時は、卒業生一人一人に、熊野純彦所長がみずから卒業証書を手渡されるのです。緊張した面持ちで卒業証書を受けとられる学生の皆さまの御姿を拝見しておりますと、大部分の時間一人で勉強をしなければいけない環境の中よくここまで頑張られたと、目頭が熱くなる思いが致しました。

最後に少し、私自身のことを紹介させていただきますと、私の本務校は駒澤大学で、中世仏教を中心として日本倫理思想史を研究しております。この学問分野は、日本近代の代表的な哲学者である和辻哲郎が切り拓いたもので、一言でいうなら「日本人は、これまで、何を愛し、何を信じ、何を思って生きてきたのか」を、様々な文献を手がかりとして解明するものです。古い文献を読みながら、昔の人と心を通わせたり、世界や人間に対する新しい見方を教えられたりすることはとても楽しい体験です。学生の皆さんとぜひこのような体験を共有したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



< ちょっと一息 ☕ >



学習センターのすぐ前に、ヨーロッパの伝説上の動物である一角獣などに出会える空間があります。この彫刻は、ドイツのカイザースラウテルン市の彫刻家ゲルノト・ルンプフ、バルバラ・ルンプフ夫妻が作成したもので、同市と文京区の姉妹都市提携のシンボルの一つとなっています。

## 〈お知らせ①〉

## 通信指導について

WAKABA トップ ⇒ 学内リンク ⇒ Web 通信指導

前半の一定範囲から出題された課題について、答案を提出し添削指導を受けるのが通信指導です。通信指導に合格すると、単位認定試験の受験資格が与えられるので、提出期間内に提出をお願いします。

## ○提出期間

- (1) Web 通信指導の場合 **5月8日(木)10時00分～5月28日(水)17時00分**
- ◆ Web 通信指導では「1回目の解答送信」が評価対象です。
  - ◆ 締切間近はアクセスが集中し接続に時間がかかりますので、余裕をもって提出してください。解答に対する添削結果は後日郵送されます。(記述式科目除く)
  - ◆ 自主学習期間  
6月4日(水)10時00分～7月25日(金)10時00分まで自主学習用に開設します。
- (2) 郵送の場合(郵送提出科目) **5月14日(水)～5月28日(水)【必着】**

## ○通信指導問題(履修科目)のアップロード先

WAKABA トップ ⇒ 授業サポート ⇒ 授業共有ファイル

新規登録科目の通信指導が未提出または不合格の場合、次学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)、科目登録を行わなくても再度通信指導を受けることができます。特に手続きの必要はなく、期限内に提出し合格すれば、単位認定試験の受験資格が得られます。「学生生活の葉」(教養学部) p67～72、(大学院) p72～77にも通信指導についての記載があるので参考にしてください。

2025年度第1学期  
単位認定試験について

WAKABA トップ ⇒ 学内リンク ⇒ Web 単位認定試験

## 〈試験日程〉

## Web 受験科目

【記述式・併用式】 7月16日(水) 9時00分～7月20日(日) 17時00分

【択一式】 7月16日(水) 9時00分～7月24日(木) 17時00分

郵送受験科目 7月16日(水)～7月20日(日)【必着】

## 〈実施方式〉(郵送受験科目除く)

- インターネットを通じて、試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。
- 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1科目1回のみ受験可)  
提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答が自動提出されます。
- 「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。

## 〈Web 単位認定試験体験版について〉 WAKABA トップ ⇒ 学内リンク ⇒ Web 単位認定試験

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに、**必ず体験版を操作しておいてください。**

## 行事案内

### 「卒業研究ガイダンス」を開催します

卒業研究の履修を考えている方は、事前に申込みの上、参加をお願いします。

- ◆ 日 時：2025年6月21日（土） 15時00分～16時00分
- ◆ 会 場：オンライン（ZOOM）開催
- ◆ 参加教員：青木 久美子教授（情報コース）
- ◆ 内 容：卒業研究はどのようなものなのか、履修手続きはどのように行うのか、などについて説明します。
- ◆ 申込方法：東京文京学習センターウェブサイト掲載の「[卒業研究ガイダンスのご案内](#)」から申込みをお願いします。申込みいただいた方には、事前に『卒業研究履修の手引』とガイダンスの資料を郵送します。

#### 卒業研究の申請条件

- ① 申請時点で放送大学に全科履修生として在学中であること。
- ② 2025年4月時点で放送大学に全科履修生として、2年以上在学していること。
- ③ 2024年第2学期末までに62単位以上の単位を修得していること。（入学時の他大学等の既修得単位を含む）

※ 詳細については『卒業研究履修の手引』（5月中旬発行）を参照してください。

※ WAKABAからもご覧になれます。 [WAKABA トップ](#) ⇒ [学習案内](#)

### 公開講演会について

①～③はオンラインと対面で、④は対面で行います。

近くなりましたらセンターのウェブサイトに参加申込み方法など詳細を掲載します。

① 7月5日（土） <a href="#">〈申込受付中〉</a>	<b>東海 正 先生</b> （東京海洋大学名誉教授） テ ー マ：「 <b>海洋プラスチックごみ問題を考える</b> —調査研究から見えてきた課題と海を守るために今できること—」
② 8月2日（土） <a href="#">〈申込受付中〉</a>	<b>青木 久美子 先生</b> （放送大学教授） テ ー マ：「 <b>あの頃と、いま。メディアが変えた日常</b> ～テレビ、電話、スマホの50年～」
③ 8月23日（土） <a href="#">〈申込受付中〉</a>	<b>谷口 義明 先生</b> （放送大学特任教授） テ ー マ：「 <b>天才たちは星空に何を見たか</b> ～宮沢賢治とフィンセント・ファン・ゴッホ～」
④ 10月19日（日）	<b>安藤 宏 先生</b> （東京大学名誉教授・東京文京学習センター客員教授） テ ー マ： <b>未定（太宰治関連）</b>

### 学園祭（茗荷祭）

**9月27日（土）・28日（日）**に東京文京学習センターで開催します。

詳細が決まりましたら、センターのウェブサイトなどにお知らせを掲載する予定です。

みなさまのお越しをお待ちしています。

### 研究成果発表会

2024年度に卒業研究・修士論文を提出された方々による研究成果発表会を **8月3日（日）**に東京文京学習センターで開催します。

詳細は追ってセンターのウェブサイトなどに掲載します。

## 行事報告

### 「入学 おめでとうございます！」

2025年4月6日(日)東京文京学習センターにおいて、2025年度第1学期「入学者の集い」を開催しました。新入生のみなさま、入学おめでとうございます。式典では、学長からのビデオメッセージが紹介され、その後、熊野所長、客員教員、東京学友同窓会会長からお祝いのことばをもらいました。

式典に引き続き行われた「新規入学者ガイダンス」では、放送大学の学習の進め方やウェブサイトの利用方法など、これからの学びに役立つ情報についての紹介がありました。



### 学園祭(茗荷祭)を開催しました！(2024年9月28-29日)

「5年ぶりの茗荷祭、さあみんなで出かけよう！！」をテーマに、5年ぶりに開催された茗荷祭。久しぶりなので、少々規模を縮小しての開催となりました。実行委員会のみなさんはじめ、サークル関係のみなさん、とても精力的に準備をすすめていました。当日は、学内は熱気にあふれ、迎える側も迎えられる側も、待ちに待った茗荷祭をとことん楽しんでいる様子が伝わってきました。開催できてよかったという思いを強く感じた2日間でした。

2025年度は **9月27日(土)、28日(日)** に開催予定です。



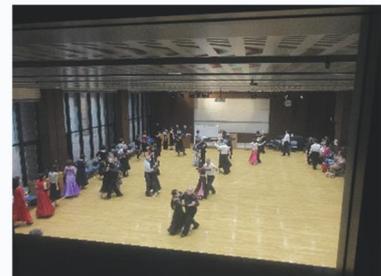
期	場所	活動グループ	展示・活動内容	9月28日(土)		9月29日(日)	
				午前 10:00~	午後 13:00~	午前 10:00~	午後 13:00~
2期	学生ホール	／	／	○	○	○	○
	講義室1	あずなら会	作品展、音楽発表	○	○	○	○
	講義室2	東京学友同窓会	バザー(名刺、サロン)	○	○	○	○
	講義室4	／	／	○	○	○	○
	講義室5	写真クラブ	会員の写真展示と来賓者の写真撮影についての相談会	○	○	○	○
	イ	総務会	テントなど登山用具の展示・体験写真展示・登山体験の上巻	○	○	○	○
	学生相談室2	テールゲームワーク	ミニお菓子付きボードゲームの体験と説明の紹介	○	○	○	○
	演習室1	西洋音楽研究会	学園祭100日記念活動報告発表	○	○	○	○
	学生相談室3	科学サークル	円筒型LED照明の製作・実験と科学の面白さを紹介	○	○	○	○
	演習室2	各サークル	学園祭	○	○	○	○
1期	正堂2階	学園祭実行委員会	受付・会場ご案内	○	○	○	○
	キリン周辺	応急手当指導	心臓マッサージ・AEDの使い方の指導	○	○	○	○
	学生ホール	／	／	○	○	○	○
学生ホール	ポスターセッション	／	／	13:00-15:30	／	／	／
	東京学友同窓会	講演会「行政書士による役立つお話し(医療制度のしくみや進学)」	／	／	18:30-19:00	／	／
	文京会館	合唱発表会	／	／	19:30-21:00	19:30-21:00	19:30-21:00
	伝統太極拳に学ぶ会	伝統太極拳の表演	／	／	／	／	／
多目的講義室2	学園祭実行委員会	準備室	○	○	○	○	
正門周辺	あずなら会	学園祭準備	18:00-19:00	／	／	／	



AEDの使い方などの体験コーナー



新鮮な野菜やお花の即売会



まるで舞踏会のように！

## 公開講演会

8月3日(土) (出席者: 対面 20人 オンライン 380人)

題目: 「食と健康 ～高齢社会の「食」を栄養と思考から見つめる～」

講師: 朝倉 富子先生(放送大学教授)



9月15日(日) (出席者: 対面 77人)

題目: 「芭蕉 最後の一年半—『おくのほそ道』から最後の句へ」

講師: 魚住 孝至先生(放送大学特任教授)



2月1日(土) (出席者: 対面 45人 オンライン 609人)

題目: 「町内会ってなんだろう? ～社会学の視点から～」

講師: 北川 由紀彦先生(放送大学教授)



2月8日(土) (出席者: 対面 95人)

題目: 「プーチンのウクライナ戦争—ロシア史の中で考える」

講師: 池田 嘉郎先生(放送大学東京文京学習センター客員教授)



## 研究成果発表会

8月4日(日) (発表者: 4人 出席者: 43人)

「東京文京学習センター」「東京学友同窓会」「東京渋谷学習センター」共催で行い、4人の発表者に卒業研究の発表をしてもらいました。

### <発表題目>

「翻訳ストラテジーについて」

「サルモネラ菌食中毒の防疫指針における日米間の発想の違いについて」

「"CALLED BACK—エミリ・ディキンソンの隠遁をめぐる、残した言葉を探る—」

「移行過程モデルであるヒックス・モデルとレーヴェ・モデルの最適化問題としての統合的定式化」



## 2024年度第1学期 卒業式・学位授与式

9月21日(土) (卒業生: 156人 出席者: 52人)

式典では、学長からのビデオメッセージに続き、熊野所長から出席者一人ひとりに学位記が授与され、所長、客員教員、東京学友同窓会会長から祝辞をもらいました。

2025年3月22日(土)には、ベルサール高田馬場で2024年度の式典が執り行われましたが、東京文京学習センターからは学部生265人、修士18人が卒業・修了しました。

卒業・修了されたみなさま、おめでとうございます。



## 客員教員ゼミ

### 《客員教員ゼミとは?》

単位修得や卒業要件にはなりません、特定のテーマについて、教員と少数の学生がお互いに意見を交わしながら学習を進めていくような授業です。それぞれの学習内容は[こちら](#)をご覧ください。参加費は無料ですが、テキスト代などが必要となるゼミもあります。

また、基本的には開講日が決まっていますが、教員の都合などにより日程が変更となる場合もあります。

【お申し込み】

<https://forms.gle/i7eaPYJzpRnqCwav9>

**安藤 宏 先生** (日本近代文学)

#### 「近代小説を読む」

定員 18 人程度

原則月 1 回 木曜日 (曜日の変更あり)

13 時 00 分～15 時 00 分 (対面実施)

**永原 恵三 先生** (音楽学・声楽)

#### (1) Mクラス「ゲオルギアードス『音楽と言語』を読む」

原則月 2 回 第 2、第 4 水曜日

各 2 時間程度 (20 時～22 時頃) (ZOOM 実施)

#### (2) Cクラス「合唱実技の授業」

原則月 2 回第 1、第 3 土曜日

各 2 時間 30 分程度 (13 時 30 分～16 時 00 分頃) (対面実施)

**細谷 浩史 先生** (原生生物学・細胞生物学)

#### 「ミドリゾウリムシを学ぶ」

定員 10 人程度 **※募集は終了しました。**

月 1 回程度 (場合により月 2 回程度)

各 2、3 時間 (対面実施)

**丸山 純一 先生** (心理学)

#### 「心理学問題演習」

定員 12 人

月 2 回土曜日 (曜日の変更あり)

14 時 00 分～16 時 00 分 (対面実施)

**森 義仁 先生** (化学)

#### 「在宅実験のすすめ」

定員 5 人

原則月 2 回 土曜日

14 時 00 分～16 時 00 分 (対面実施)

**頼住 光子 先生** (日本倫理思想史・仏教思想)

#### 「『遠野物語』を読む」

定員 10 人 **※募集は終了しました。**

原則として各月最終水曜日

(変更の可能性あり) (対面実施)

**小又 志郎 先生** (物理学)

#### (1) 量子力学勉強会

定員 10 人

月 2 回 隔週木曜日

午後 3 時間程度

※ 5 月 8 日～29 日休講 (対面実施)

#### (2) 複素関数を学ぶ

月 2 回 隔週木曜日

午後 3 時間程度

※ 5 月 8 日～29 日休講 (対面実施)



## 公認サークル一覧

当センターには、現在、20を超える大学公認の学生団体があり、文学・芸術など多岐にわたり積極的に活動しています。

サークル名	目的
茗峰会	自然を愛し、自然と触れ合うことにより、人間性の回復を目指す。
テオリア	哲学の学習と研究により、会員各自の哲学的態度の養成、自己開発、また、会員相互の親睦を図る。
あすなる会	放送大学生相互の親睦並びに共同学習による学力向上を通して、自己を啓発し、生涯学習の輪を広げて行く。
ドイツ語学習会	ドイツ語の学力向上とドイツ文化への理解を深めることを目指すとともに、学生相互の親睦を深める。
科学サークル	科学のリテラシーと普及を目的に、共同学習等によって、会員同士の親睦を深める。
写真クラブ	会員の写真技術の向上を主な目的とする。また、その目的達成のため写真に関するハード及びソフトにおける総合的な研究活動を行うとともに、活動を通して学生間の交流を図り在学生活をより豊かで爽やかなものにするよう活動する。
哲学の会 めてうす	思索としての哲学の意義を会員共同の哲学研究活動を通じてより深く理解し、人間と世界に対して視野を広め、会員相互の啓発と親睦を深める。
陸上競技部	陸上競技に実践的・理論的に取り組み、会員相互の交流を促し、もって学生生活を豊かにする。
ボールルーム ダンス研究会	社交ダンスの技術、知識の習得を目的とし、会員相互の親睦をはかり、社交ダンスに対する造詣を深める。
文京合唱団	合唱の活動を通して放送大学の学生である会員間の親睦または関係者との親睦を深める。
西洋音楽史 研究会	西洋音楽の学習、研究を通して知識および理解の向上をはかるとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。
ツーリングクラブ	オートバイツーリングで学生の親睦を深め、安全なライディングを相互に啓発する。
富永ゼミ 「環境」	「環境」に係るさまざまな問題を勉強し意識を高める。
陸墨会	墨彩画、水墨画、東洋史や自然の美しさを学ぶことを通して、会員相互の親睦と墨彩画技術の向上を目的とし、墨彩画講習会、スケッチ会等を開催する。
K.N.アカデミア	放送大学客員教授永原恵三先生ゼミでの学びを更に深めるために、学生及び卒業生が相互に音楽を学び合い、研鑽、親睦を図る。
テーブルゲーム サークル	放送大学に在籍する学生相互の交流、親睦、学習への士気向上を図るべく、テーブルゲームを活用したサークルを結成する。
英映会	英語の学力向上と英語圏の文化への理解を深めることを目指すとともに、学生相互の親睦を深めることを目的とする。
星ゼミ 英語本読書会	心理学に関する英語の原書を読むことで、教養を深め、日々の生活に活かす。
鉄道研究会	鉄道を学術的・趣味的に研究し、鉄道に対する理解を深めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。
c o m o d o	主として若年学生の相互学習支援により、広い分野での知識や見識を拡充する。また、活動を通じて学生間の親睦を図る。
生き物クラブ	生物全般についての調査研究を行うことにより、生物への理解を深め、環境保護意識の向上を図る。学生相互の研鑽、親睦、交流を図る。
地理地学研究会	地理学及び地学並びに関連する諸分野に関する勉強会及び現地視察活動（巡検）等を行うことにより、これらについての関心・理解を深めると共に、学生相互並びにその他の本会関係者間の研鑽、親睦、交流を図ることを目的とする。

## 面接授業 追加登録について

事前申請で満席とならなかった科目については、空席状況をシステム WAKABA でリアルタイムで確認できます。追加の登録は、原則として開講日の7日前まで、先着順で、開設学習センター窓口または郵送（現金書留）で受付けます。

- 【空席状況照会】 WAKABA トップ ⇒ **教務情報** ⇒ **科目登録申請** ⇒ **空席照会**  
 【窓口申込み】 所定の授業料を開設学習センター窓口にお持ちください。  
 【郵送（現金書留）】 追加登録申請書・所定の授業料・返信用封筒（宛先明記、110 円切手添付）を開設学習センター宛に郵送してください。

## 印刷教材の購入について

※2025 年 3 月をもって学習センター窓口での対面販売は終了しました。

学習センターを通して下記の方法により購入申込を行うことで、割引価格（定価の 1 割引）で購入することができます。

割引購入を申し込んだ印刷教材は、放送大学教育振興会から、申込受付後 2 週間以内を目処に、申込書に記載した住所宛てに、宅配便（佐川急便）で発送されます。（送料はかかりません。）

代金は、商品お届け時に、代引（現金のみ）にてお支払いください。（手数料はかかりません。）

【申込み手順】

- ① WAKABA トップ ⇒ **キャンパスライフ** ⇒ **学内関連** ⇒ **各種届出・申請様式**  
 ② 「印刷教材割引購入申込書類一式」をダウンロードし「印刷教材割引購入申込書」に必要事項を記入  
 ③ 必要事項を記入した申込書を**キャンパスメール**から学習センター宛  
 （東京文京 SC の場合：[bunkyo-sc@ouj.ac.jp](mailto:bunkyo-sc@ouj.ac.jp)）にメール添付で提出

## 学生用無線 LAN サービス : WiFi-houdai について

WiFi-houdai を利用するための ID と PW は、システム WAKABA から次の手順で申請できます。

WAKABA トップ ⇒ **学内リンク** ⇒ **放送大学自己学習サイト** ⇒

**情報セキュリティ研修（学生用）受講** ⇒ **修了（合格）** ⇒

「情報セキュリティに係る利用条件」に同意 ⇒ 申請画面に ID・PW 表示



発行済みの ID・PW を確認したいときは **無線LAN利用申請** をクリックすると表示されます。

## 東京文京学習センターX（旧 Twitter）について

東京文京学習センターX（旧 Twitter）では東京文京学習センターからのお知らせ等の情報を発信しています。  
 右記 QR コードから、確認ください。



[https://x.com/bunkyo\\_sc?\\_fsi=zcVHsHTT](https://x.com/bunkyo_sc?_fsi=zcVHsHTT)

### 編集後記

今回より、ウェブ版のみの発行となりました。  
 ウェブ版の良さを生かしつつ、これからも、その時々で必要な情報をわかりやすくお伝えできる誌面づくりを目指していきますので、ご活用ください。